

# ●抗インフルエンザウイルス検証

(財)北里環境科学センター 調べ

A型インフルエンザウイルス【H1N1】に対する不活性化を検証

感染価対数減少値 **2.72**  $\log_{10}$ 『抗ウイルス評価基準2.00  $\log_{10}$ 以上』

不活性化効果 **99.975%**『ウイルス減少率』



ウイルス不活性化効果試験 (北環発21\_0128号)

《証明された長期・安定機能》

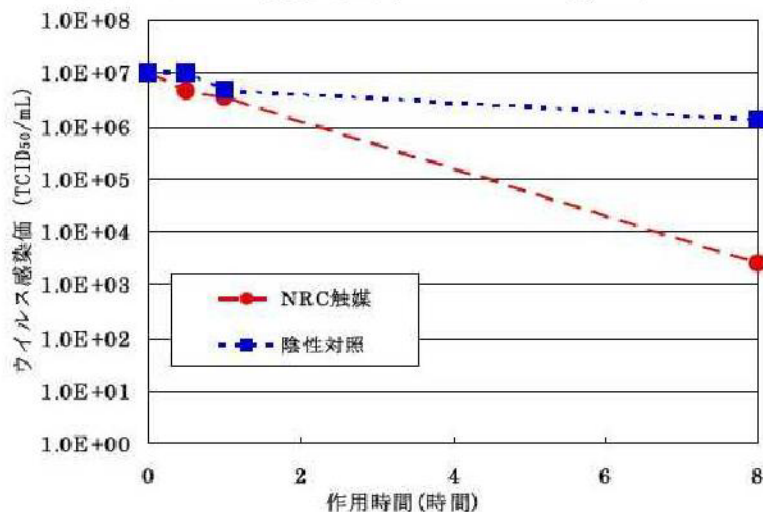
試験試料は、NRCを塗布し  
充分乾燥させたものを使用しました。

●**長期間の機能持続!**  
乾燥後に機能が働き持続します。

	0	0.5時間	1時間	8時間
NRC	$1.0 \times 10^7$	$4.5 \times 10^6$	$3.5 \times 10^6$	$2.5 \times 10^3$
陰性対照		$1.0 \times 10^7$	$4.7 \times 10^6$	$1.3 \times 10^6$
感染価対数減少値 [ $\log_{10}$ ]	—	0.35	0.13	<b>2.72 <math>\log_{10}</math></b>
不活性化効果『ウイルス減少率』	—	55%	65%	<b>99.975%</b>

単位: TCID<sub>50</sub>/ml 検出限界値: 6.3TCID<sub>50</sub>/ml  
感染価対数減少値:  $\log_{10}$  (陰性対照のウイルス感染価 ÷ 試験品のウイルス感染価)

抗ウイルス評価基準: 2.00  $\log_{10}$  以上



※北里環境科学センターは、機能・効果を保証するものではありません。